

## 本時のねらい

・体育で「ソフトボール投げ」測定をする際に必要な中心角 30 度になる扇形のラインをグラウンドに正確に描くことができる

## 本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

・長方形を使った 30 度の作り方を考える際に、OneNote 上に保存された前時までの学習記録内容（正方形を使った 30 度の作り方の手順）を参考にすることができる。  
・実際にグラウンドに描いた 30 度のラインを上階から写真撮影し、画像として確認することにより、実物で保管ができない大きな成果物に対して、いつでも確認・評価できる状態を作る。

## 活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・Microsoft OneNote ・「寿司打」（タイピング練習アプリ）

## 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (10 分)	○タイピング練習 [写真 1] ○前時の振り返り 「正方形を使った 30 度の角度の作り方」について	○タイピングソフト（寿司打）を利用し、ゲーム感覚でタイピング練習に取り組ませる。 ○30 度の角度を折り紙で作るためにどうすればよいか、前時の学習内容を OneNote で確認する。
展開 (35 分)	【本時のめあて】 「長方形を使った 30 度の作り方」を考えよう ○長方形（A 4 用紙）を使って、30 度の角度を作る。 ○新聞紙を使用し、30、60、90 度の大きな三角定規を作る。 ○グラウンドへ出て、新聞紙で作った三角定規を使用して、実際に「ソフトボール投げ」のラインを引く。 ○教員とともに校舎の 4 階へ上がり、タブレット P C で自らが引いたラインを撮影する。 [写真 3] ○教室へもどり、撮影した画像に分度器をあて、実際に自分が引いたラインが 30 度になっていたかどうかを確認する。	○教員が、新聞紙を折る手順を、あらかじめ撮影し、OneNote 上に共有しておくことで、いつでも生徒が手順を確認できるようにしておく。 [写真 2] ○新聞紙で作った三角定規をもとに、教員とともにグラウンドにラインをひく。 ○グラウンドに引いたラインを校舎の 4 階から確認し、撮影させる。 ○ズームアウト機能を使い、角度を確認しやすくするように支援する。
まとめ (5 分)	【本時のまとめ】 ○本時で学習した内容を整理し、撮影画像とともに OneNote に本時のふりかえりを記入させる。	

## 1 人 1 台端末を活用した活動の様子



写真 1：タイピングソフトに取り組む様子



写真 2：三角定規を新聞紙でつくる手順を OneNote 上にある動画で確認している様子



写真 3：校舎 4 階からグラウンドに引いたラインを撮影している様子

## 児童生徒の反応や変容

・図形の単元に関して苦手意識を持つ生徒が、折り紙や ICT を効果的に活用したことで、学習内容を視覚的にイメージ化することが容易になり、興味関心を持って学習に取り組むことへの補助となったといえる。授業後も自ら進んで、さまざまな紙を取り出し、折り紙をして、様々な角度を作る姿があった。  
・本時の学習内容が、自分の得意な保健体育で役に立ったことを知り、一層数学への学習意欲を高めることができた。

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

・図形が苦手な生徒に対して、「折り紙を折る」、「グラウンドに線を引く」、「上階からカメラで撮影する」等といった、実生活で使用するものを効果的に活用しながら、学習へ主体的に取り組む仕掛けづくりを意識した。とりわけタブレット P C での画像撮影したものを活用したことで、生徒が習得内容に対して視覚的にイメージを持つことに役立った。